

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	15063
課題名	画像解析ソフトを用いた研究用解析サーバーの構築
研究期間	西暦 2015 年 8 月 5 日 ～ 2020 年 3 月 31 日
利用する情報、検体	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：放射線画像データ） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（
	<p>※以下の期間に収集した情報、検体が対象となります 西暦 2010 年 1 月 1 日 ～ 2020 年 3 月 31 日</p>
研究の意義、目的	<p>通常の診療で撮像された CT や MRI を含めた画像データには、病態を反映している情報が多く含まれています。特に、近年の IT 機器の発展は目まぐるしく、数年前の同一の検査よりも、『細かく、きれいな画像』を得ることができるようになっていきます。</p> <p>その『細かく、きれいな画像』はそれぞれ単独で扱おうとすると、とてつもない多大な情報を含んでいます。いわゆるビッグデータです。ビッグデータはきちんと目的に応じて『活用』する必要があります。その『活用』を行うためには巨大な画像データから有用な情報のみを取り出す画像処理が必要不可欠です。</p> <p>画像処理は一般的には高額なワークステーションやソフトを導入しなければ行えません。しかし、比較的安価な画像解析ソフトが市販されており、これで画像解析が行えれば、画像から新たなバイオマーカーを得ることが可能と考えられます。</p> <p>研究の目的として、院内ネットワーク内に Mac 用に市販されている OsiriX MD を用いて画像解析用サーバーを構築し、スムーズなデータ移行をもとに、将来の画像データからのバイオマーカー取得に向けた研究の基盤とすることです。</p>
研究の方法	<p>通常の診療で撮像されたレントゲン写真や CT・MRI 画像を、後から目的に応じて研究目的の画像解析ソフトがインストールされた Mac 用サーバーにデータを蓄積しつつ、画像解析を行います。データを蓄積する場合は匿名化します。</p>
その他	なし
個人情報について	<p>利用する情報、検体からは、お名前や住所など、個人が特定できる情報は削除して取り扱いますので、個人情報が外部に漏えいすることはありません。研究成果発表（学会発表、学術論文への投稿）の際にも、個人が特定できる情報は利用しません。</p>
問い合わせ等の窓口	<p>所属：放射線医学講座 氏名：佐々木智章 電話番号：0166(68)2572</p>